

## 2024 年度日本海洋学会第 2 回理事懇談会議事録

日時: 2024 年 11 月 12 日 (火) 13:30~15:00

場所: Zoom を利用したオンライン開催

出席者: 江淵会長、原田副会長、岡(顕)、岡(英)、大林、川合、久保川、齊藤、土井、中野、野口、長谷川、安中、渡部、事務局(毎日学術フォーラム: 米岡)

### 議題

#### 1. 議事録(案)確認 (中野理事)

2024 年度臨時理事会議事録(案)が確認され、承認された。

2024 年度臨時評議会議事録(案)が確認され、承認された。

#### 2. 審議事項

##### (1) 入退会について (岡(顕)理事)

2024 年 8 月から 2024 年 9 月の入会者(28 名)と退会者(3 名)が承認された。2024 年 9 月末時点の会員数は 1,453 名。

##### (2) シンポジウムの後援・協賛等について (岡(顕)理事)

後援・協賛等について 5 件の依頼があり、承認された。

##### (3) 募集・推薦等の依頼 (岡(顕)理事)

18 件の公募・推薦の依頼、5 件のシンポジウム・講演等のお知らせについて、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことについて報告された。その他 13 件(郵便物)について報告された。

##### (4) 会費未納者について (岡(顕)理事)

会費未納者(1~3 年)について確認した。例年効果がある会費の納付についての声かけを行うこととした。

##### (5) JpGU2025 共催希望 (安中理事)

26 件の共催依頼があり、承認された。なお、このうち海洋学会員がコンビナーとして加わっていないセッションの相談が 3 件あり、学会員がコンビナーに入っていないことを想定していない旨を伝えたところ、1 件は入会手続きがなされ、2 件は共催依頼しないことになったことが報告された。

### 報告事項

#### (1) 原田副会長

若手研究者と理事会の懇談会で若手の要望とされた内容について報告され、今後の武者修行セミナー、ナイトセッションなどの学会中のイベントの充実、情報発信のやり方、若手会と中手会の交流等について議論された。

#### (2) 庶務 (岡(顕)理事)

12 月と 1 月の理事会のスケジュール、および、JpGU フェロー等の各賞推薦についての

情報が確認された。

(3) 会計（野口理事）

郵貯の法人用口座の名義変更等の完了など学会口座開設の進捗について報告された。また、業務委託契約の費用削減について理事の負担との費用対効果の議論がされ、費用を削減できる可能性がある項目について毎日フォーラムより提案していただくこととなった。

(4) 研究発表(安中理事)

JpGUにおいて日本語セッションが維持される方向であることが報告された。

秋季大会のWebサイトの検討状況について報告された。

(5) 選挙(中野理事)

ウェブ選挙の実行状況等について報告された。

来年1月に行われる理事会選挙の理事会および会長による推薦について議論された。

(6) 編集

① 海の研究（久保川編集委員長）

以下について報告された。

- ・海の研究 33 巻 5,6 合併号を 11 月 15 日に発行予定である。
- ・現在の投稿・受理状況は印刷中 3 編、審査中 4 編、依頼原稿待ち 2 編。
- ・今年度末で編集委員 1 名が交代の予定。
- ・論文に記載する論文種別のうち、原著論文に関しては目次等に合わせて、「論文」から「原著論文」に変更した。

② JO（齊藤編集委員長）

以下について報告された。

- ・80(6)は12月に出版予定。
- ・Special Section ” Midlatitude ocean-atmosphere interactions and extreme events”の投稿を締め切った。合計 20 報の投稿があった。今後、Vol.81 において、いくつかの号に分けて Special Section を出版していく予定。
- ・岡(英)理事より、JO のシェアラブルリンクに関する理解が低いとため、編集委員長より宣伝をして、JO をより多くの方に読んでいただくよう努力してほしいとの意見が出た。齊藤編集委員長は対応を約束した。

(7) 広報委員会（川合理事）

海洋学会中の中手会ナイトセッションでとられたアンケートについて報告された。

現在理事会で承認された議事録は速やかに web ページに掲載することとした。

(8) 西南支部（大林理事）

2024 年度九州沖縄地区合同シンポジウム開催予定(12/6)について報告された。

(9) 教育問題研究会（川合理事）

出前授業を 2 件行ったこと、及びサイエンスアゴラ開催について報告された。

(10) 海洋生物学研究会（野口理事）

会長及び副会長の交代、及び3月の研究会の開催予定(3/17-18)について報告された。

(11) 日本海洋科学振興財団(原田副会長)

日高論文賞の授与されたこと、及び海外渡航援助の前期分2名を決定し後期分を受け付けていることが報告された。海ロマンより論文賞の賞金を来年度よりこれまでの2倍の10万円とすることが報告された

(12) 男女共同参画 (野口理事)

連絡会シンポジウム(10/12)にオンライン参加、及び運営委員会の開催予定(12/10)について報告された。

(13) 水産・海洋科学研究連絡協議会 (江淵会長)

OneArgoのシンポジウムにおいて協議会の協力をいただいたことについて報告された。

(14) リクルート戦略ワーキンググループ (渡部理事)

4件の問い合わせがあったこと、またボランティア学会員が回答の一部を担う体制が順調に機能していることについて報告された。

以上